

オーストリア

2020年12月8日

海外調査部・ウィーン事務所

2019年の貿易は財の輸出と輸入がともに緩やかに増加したが、輸出額の伸びが輸入額を上回り、貿易赤字が縮小した。直接投資は対内、対外ともに大幅に増加した。対日貿易は、輸出が原料別製品を中心に前年比5.5%増となったが、輸入は0.3%増にとどまった。対日投資は、対外、対内ともに好調だったが、特に対内は16億4,000万ユーロで過去最高額だった。

■輸出・輸入ともに増加、貿易赤字は縮小

2019年の貿易は、輸出が前年比2.5%増の1,537億8,800万ユーロ、輸入が1.2%増の1,579億7,300万ユーロと双方ともに増加した。輸出額の伸びが輸入額を上回り、貿易赤字は前年の59億8,500万ユーロから41億8,500万ユーロに縮小した。

輸出を品目別でみると、最大品目である機械・輸送機器（構成比40.2%）は前年比2.5%増となった。そのうち、通信機器（1.3%）は18.6%減と大きく落ち込んだものの、道路輸送機器（11.1%）が6.2%増（うち乗用車（5.2%）が13.6%増）、一般機械（6.4%）も6.2%増と主要品目が堅調な伸びを示し、機械・輸送機器の輸出増に寄与した。

輸出を国・地域別でみると、全体の7割近くを占めるEU（構成比69.7%）は前年比2.2%増となった。そのうち、ユーロ圏（51.5%）は1.4%増となった一方、最大の輸出相手国のドイツ（29.4%）は0.2%減となった。対ドイツ輸出の内訳をみると、最大品目である機械・輸送機器（40.8%）が0.2%減となったほか、鉄鋼などの減少を受け

原料別製品（22.6%）が7.2%減と全体の足を引っ張った。非ユーロ圏（18.2%）は4.2%増で、金額ではユーロ圏への輸出の35%程度だが、非ユーロ圏への輸出拡大がEU全体向けの輸出増に寄与した。

EU域外（構成比30.3%）は前年比3.2%増の465億7,700万ユーロだった。そのうち、最大の輸出先である米国（6.7%）は3.4%減と落ち込んだ。対米

表1 オーストリアの品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

| | 輸出 (FOB) | | | | 輸入 (CIF) | | | |
|--------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| | 2018年 金額 | 2019年 金額 | 2019年 構成比 | 2019年 伸び率 | 2018年 金額 | 2019年 金額 | 2019年 構成比 | 2019年 伸び率 |
| 機械・輸送機器 | 60,239 | 61,772 | 40.2 | 2.5 | 54,827 | 56,788 | 35.9 | 3.6 |
| 道路輸送機器 | 16,038 | 17,031 | 11.1 | 6.2 | 17,452 | 18,278 | 11.6 | 4.7 |
| 乗用車 | 7,080 | 8,047 | 5.2 | 13.6 | 8,284 | 8,825 | 5.6 | 6.5 |
| 自動車部品 | 4,669 | 4,425 | 2.9 | △5.2 | 5,439 | 5,731 | 3.6 | 5.4 |
| 電気・電子機器 | 11,232 | 11,025 | 7.2 | △1.8 | 10,481 | 10,751 | 6.8 | 2.6 |
| 一般機械 | 9,199 | 9,770 | 6.4 | 6.2 | 8,662 | 8,767 | 5.5 | 1.2 |
| 産業用機械 | 9,015 | 8,957 | 5.8 | △0.6 | 4,797 | 4,840 | 3.1 | 0.9 |
| 原動機 | 7,012 | 7,271 | 4.7 | 3.7 | 4,360 | 4,428 | 2.8 | 1.5 |
| 通信機器 | 2,527 | 2,056 | 1.3 | △18.6 | 3,992 | 3,970 | 2.5 | △0.5 |
| 原料別製品 | 32,919 | 31,915 | 20.8 | △3.1 | 24,998 | 24,469 | 15.5 | △2.1 |
| 金属製品 | 8,280 | 8,227 | 5.3 | △0.6 | 6,755 | 6,898 | 4.4 | 2.1 |
| 鉄製品 | 8,396 | 7,743 | 5.0 | △7.8 | 4,798 | 4,153 | 2.6 | △13.4 |
| 化学品 | 19,897 | 21,690 | 14.1 | 9.0 | 21,193 | 21,870 | 13.8 | 3.2 |
| 医薬品 | 9,359 | 11,249 | 7.3 | 20.2 | 9,033 | 9,907 | 6.3 | 9.7 |
| 雑製品 | 16,968 | 17,374 | 11.3 | 2.4 | 22,994 | 23,707 | 15.0 | 3.1 |
| 食品・動物・飲料・たばこ | 10,909 | 11,659 | 7.6 | 6.9 | 11,159 | 11,691 | 7.4 | 4.8 |
| 原料 | 4,879 | 4,741 | 3.1 | △2.8 | 6,397 | 6,123 | 3.9 | △4.3 |
| コルク・木材 | 1,803 | 1,747 | 1.1 | △3.1 | 1,567 | 1,427 | 0.9 | △8.9 |
| 燃料・エネルギー | 3,274 | 3,575 | 2.3 | 9.2 | 12,755 | 12,360 | 7.8 | △3.1 |
| 原油・石油製品 | 1,945 | 1,952 | 1.3 | 0.4 | 7,859 | 7,947 | 5.0 | 1.1 |
| 天然ガス | 384 | 421 | 0.3 | 9.5 | 3,040 | 2,575 | 1.6 | △15.3 |
| 総額(その他含む) | 150,071 | 153,788 | 100.0 | 2.5 | 156,056 | 157,973 | 100.0 | 1.2 |

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] オーストリア統計局

輸出の内訳をみると、機械・輸送機器（52.5%）が7.1%減で、うち乗用車（10.9%）が12.9%減だった。原料別製品（13.2%）が11.2%減、うち鉄鋼（4.3%）がトランプ政権の通商政策の影響を受け24.3%減と大幅に減少した。一方、アジア大洋州（8.5%）は7.9%増となったが、化学品（12.0%）が4割増と伸びた中国（2.9%）が10.0%増となったことなどにより、米国への輸出減を中国が補った格好となった。

輸入を品目別でみると、最大品目

である機械・輸送機器（構成比35.9%）が、道路輸送機器（11.6%）の前年比4.7%増などにより、3.6%増となった。また、化学品（13.8%）の3.2%増も輸入全体を押し上げた。一方で、鉄製品（2.6%）が13.4%減と大きく減少したことにより、原料別製品（15.5%）は2.1%減となった。

輸入を国・地域別でみると、EU（構成比70.1%）は前年比0.4%増にとどまった。そのうち最大の輸入元のドイツ（35.0%）は1.0%減となり、その内訳をみると、機械・輸送機器（38.8%）が0.9%減、原料別製品（17.8%）が2.2%減と全体の足を引っ張った。一方で、食品（7.1%）は4.5%増と堅調に伸びた。フランス（2.7%）も1.7%減と減少した。他方、2位の輸入元であるイタリア（6.6%）は4.3%増と伸びをみせた。このほか、ポーランド（3.0%）が11.2%増と大きく伸長、EUではこの2カ国からの輸入増が顕著だった。

EU域外では、アジア大洋州（11.5%）が6.0%増と好調であった。中国（6.2%）が7.8%増、ASEAN（2.1%）が14.5%増と牽引した。また、米国（4.5%）も18.8%増と大幅に伸びた。化学品（45.8%）が24.0%増、機械・輸送機器（32.4%）が15.1%増と主要品目の大幅な増加による。

2020年に入って、オーストリアの貿易は世界的な新型コロナウイルス感染拡大防止による制限措置のため大幅に減少している。オーストリア国立銀行（OeNB）によると、第1四半期の輸出は前年同期比4.8%減となった。また、4月は前年同月比22.6%減、5月は16.9%減、6月は10.6%減となり、第2四半期は前年同期比16.8%減にまで落ち込んだ。

■対内外直接投資ともに大幅増加

オーストリア国立銀行によると、2019年の対内直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は41億4,700万ユーロで、前年の17億6,600万ユーロを大幅に上回った。対外直接投資額も94億4,900万ユーロで、前年の49億7,200万ユーロから倍増した。

2019年の対内直接投資を国・地域別でみると、EUからの投資は31億9,400万ユーロを記録し、そのうちドイツが22億5,800万ユーロ、ルクセンブルクが13億2,100万ユーロだった。一方で、英国は15億

表2 オーストリアの主要国・地域別輸出入

| | 輸出 (FOB) | | | | 輸入 (CIF) | | | |
|-----------|----------|---------|-------|------|----------|---------|-------|-------|
| | 2018年 | | 2019年 | | 2018年 | | 2019年 | |
| | 金額 | 金額 | 構成比 | 伸び率 | 金額 | 金額 | 構成比 | 伸び率 |
| EU | 104,943 | 107,211 | 69.7 | 2.2 | 110,320 | 110,770 | 70.1 | 0.4 |
| ユーロ圏 | 78,051 | 79,154 | 51.5 | 1.4 | 87,327 | 87,352 | 55.3 | 0.0 |
| ドイツ | 45,235 | 45,143 | 29.4 | △0.2 | 55,850 | 55,305 | 35.0 | △1.0 |
| イタリア | 9,762 | 9,759 | 6.3 | 0.0 | 9,955 | 10,387 | 6.6 | 4.3 |
| フランス | 6,411 | 6,728 | 4.4 | 4.9 | 4,283 | 4,209 | 2.7 | △1.7 |
| スロバキア | 3,185 | 3,192 | 2.1 | 0.2 | 3,499 | 3,283 | 2.1 | △6.2 |
| 非ユーロ圏 | 26,817 | 27,946 | 18.2 | 4.2 | 22,993 | 23,418 | 14.8 | 1.8 |
| ハンガリー | 5,114 | 5,614 | 3.7 | 9.8 | 4,192 | 4,300 | 2.7 | 2.6 |
| チェコ | 5,666 | 5,427 | 3.5 | △4.2 | 6,789 | 6,680 | 4.2 | △1.6 |
| ポーランド | 4,779 | 5,181 | 3.4 | 8.4 | 4,196 | 4,665 | 3.0 | 11.2 |
| 英国 | 4,198 | 4,498 | 2.9 | 7.2 | 2,869 | 2,808 | 1.8 | △2.1 |
| アジア大洋州 | 12,053 | 13,010 | 8.5 | 7.9 | 17,141 | 18,170 | 11.5 | 6.0 |
| 中国 | 4,055 | 4,461 | 2.9 | 10.0 | 9,110 | 9,825 | 6.2 | 7.8 |
| ASEAN | 1,875 | 1,982 | 1.3 | 5.7 | 2,836 | 3,246 | 2.1 | 14.5 |
| 日本 | 1,529 | 1,613 | 1.0 | 5.5 | 2,240 | 2,248 | 1.4 | 0.3 |
| インド | 924 | 923 | 0.6 | △0.1 | 946 | 1,023 | 0.6 | 8.2 |
| 米国 | 10,601 | 10,245 | 6.7 | △3.4 | 5,984 | 7,112 | 4.5 | 18.8 |
| スイス | 7,013 | 7,263 | 4.7 | 3.6 | 6,802 | 6,071 | 3.8 | △10.7 |
| ロシア | 2,105 | 2,363 | 1.5 | 12.3 | 3,291 | 2,762 | 1.7 | △16.1 |
| アフリカ | 1,822 | 1,993 | 1.3 | 9.4 | 2,127 | 2,216 | 1.4 | 4.2 |
| カナダ | 1,226 | 1,278 | 0.8 | 4.2 | 339 | 403 | 0.3 | 18.7 |
| ブラジル | 833 | 758 | 0.5 | △9.0 | 454 | 358 | 0.2 | △21.2 |
| 合計(その他含む) | 150,071 | 153,788 | 100.0 | 2.5 | 156,056 | 157,973 | 100.0 | 1.2 |

〔注〕①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

②アジア大洋州はASEAN+6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に香港および台湾を加えた合計値。

〔出所〕オーストリア統計局

2,900万ユーロの引き揚げ超過に転じた。EU以外では、日本が16億4,000万ユーロ、ロシアが16億2,400万ユーロと前年から大きく拡大した一方、米国は23億200万ユーロの引き揚げ超過となった。

オーストリア経済振興会社 (ABA) は、2019年に前年比107件増となる462社の外国企業を誘致した。投資総額は11億1,600万ユーロ増の18億5,000万ユーロ、雇用創出数は2,008人増の4,896人になった。誘致企業の3割はドイツからで143社、イタリアが45社で続いた。英国からの企業が24社で前年の14社から大きく増加した。中・東欧からは全体の約5分の1となる89社が進出し、そのうちハンガリーとスロベニアがそれぞれ14社と最も多かった。

2019年の対外直接投資を国・地域別で見ると、EUが38億2,600万ユーロ、アジアが42億1,100万ユーロと、この2地域向けが大半を占めた。欧州では19億5,800万ユーロのドイツ、11億2,500万ユーロのルクセンブルクが主な投資先となった。アジアでは、マレーシアが8億6,300万ユーロと大きかった。その他、アラブ首長国連邦が19億1,900万ユーロと目立った。

表3 オーストリアの国・地域別対内・対外直接投資 (国際収支ベース、ネット、フロー)
(単位: 100万ユーロ)

| | 対内直接投資 | | 対外直接投資 | |
|------------|--------|--------|--------|-------|
| | 2018年 | 2019年 | 2018年 | 2019年 |
| | 金額 | 金額 | 金額 | 金額 |
| EU | 6,881 | 3,194 | △819 | 3,826 |
| ユーロ圏 | 6,415 | 4,919 | △845 | 3,529 |
| ドイツ | 4,344 | 2,258 | △1,653 | 1,958 |
| ルクセンブルク | 376 | 1,321 | 1,571 | 1,125 |
| オランダ | 758 | 1,008 | △973 | 471 |
| フランス | △49 | 466 | 72 | 94 |
| イタリア | 385 | 25 | 569 | △56 |
| 非ユーロ圏 | 466 | △1,724 | 27 | 297 |
| ハンガリー | 16 | 26 | △566 | △346 |
| 英国 | 390 | △1,529 | △91 | △21 |
| スイス | △100 | 299 | 1,576 | 549 |
| ロシア | △877 | 1,624 | 5 | 154 |
| トルコ | 5 | 100 | 176 | 13 |
| アラブ首長国連邦 | △941 | △265 | 900 | 1,919 |
| 日本 | 139 | 1,640 | 9 | 17 |
| 中国 | 119 | 22 | 529 | 304 |
| マレーシア | n.a. | n.a. | 27 | 863 |
| インド | 35 | 23 | 119 | 109 |
| 米国 | △3,452 | △2,302 | 1,410 | 500 |
| ブラジル | △1,984 | 479 | 147 | △10 |
| アフリカ | 181 | 69 | △60 | 55 |
| 合計 (その他含む) | 1,766 | 4,147 | 4,972 | 9,449 |

(注) 2019年は暫定値。

(出所) オーストリア国立銀行

表4 オーストリアの主な対内直接投資案件 (2019年~2020年5月)

(M&A以外)

| 業種 | 企業名 | 国籍 | 時期 | 投資額 | 概要 |
|-----|-----------|-----|----------|-------------|--|
| 自動車 | BMW | ドイツ | 2020年5月 | 3億7,400万ユーロ | BMWは、オーバーエースタライヒ州のエンジン工場に対し、2019年通年で3億7,400万ユーロを投資したと発表。 |
| 医薬品 | ファイザー | 米国 | 2019年8月 | 5,000万ユーロ | 米薬品大手ファイザーは、オルト・アン・デア・ドナウにワクチンの品質管理センターなどの建設を発表。 |
| 化学 | ユングブントラワー | スイス | 2020年2月 | 非公表 | ユングブントラワーは、ニーダーエスターライヒ州北部にあるキサントガムの生産施設を拡大した。 |
| 金融 | N26 | ドイツ | 2019年10月 | 非公表 | オンライン銀行を展開するN26は、ウィーンに技術革新センターを開設した。 |

(M&A)

| 被買収企業 (事業) | 買収企業 | | | 時期 | 投資額 | 概要 |
|------------|----------------------|--------------|-------|----------|-------------|--|
| | 業種 | 企業名 | 国籍 | | | |
| 医薬品 | テーミス | MSD | 米国 | 2020年5月 | 非公表 | 医薬品大手メルク傘下のMSDは、2020年5月にワクチン開発・製造のテーミスの買収を発表。短期的には新型コロナウイルスのワクチン開発を行う。同年6月に買収完了。 |
| 軍事機器 | ヒルテンベア・ゲル・ディフェンスグループ | HDT・ベデルミ・イバリ | ハンガリー | 2019年11月 | 非公表 | ハンガリー国営企業のHDT・ベデルミ・イバリは、オーストリアのヒルテンベア・ゲル・ディフェンスグループの買収を発表。ハンガリー防衛産業の発展を図る。 |
| 不動産 | シグナ・プライムセクション | FFP | フランス | 2019年6月 | 1億8,600万ユーロ | 投資会社のFFPは2019年6月に、オーストリアやドイツ、イタリア等に不動産を多数所有する不動産会社のシグナ・プライムセクションの株式5%を取得した。 |
| 精密機器 | ams | ノールズ | 米国 | 2019年12月 | 5,800万ドル | 精密機器製造のノールズは、オーストリアのセンサーメーカーamsからMEMSマイクの電子部品事業を取得したと発表。 |

(出所) 各社発表および報道などから作成

■対日貿易、輸出入ともに増加

オーストリアにとって日本は輸出で19位、輸入で15位と、アジア大洋州で中国に続く第2の貿易相手国だ。2019年の対日輸出額は前年比5.5%増の16億1,300万ユーロ、対日輸入額は0.3%増の22億4,800万ユーロといずれも過去最高額となった。対日貿易赤字は前年の7億1,100万ユーロから6億3,500万ユーロ

表5 オーストリアの主な対外直接投資案件 (2019年～2020年3月)

(M&A以外)

| 業種 | 企業名 | 投資先国 | 時期 | 投資額 | 概要 |
|----|---------|----------|---------|-----------|--|
| 流通 | XXXLutz | ドイツ | 2020年2月 | 1億ユーロ | 家具大手XXXLutzは、エアフルト市にeコマース用の流通センターの建設を発表。2020年夏に稼働開始予定。 |
| 包装 | ドゥナバック | ハンガリー | 2020年1月 | 5,200万ユーロ | 包装資材製造のドゥナバックは、ブダペスト南部に工場の建設を発表。2021年に稼働する予定。 |
| 包装 | アルブラ | 南アフリカ共和国 | 2020年3月 | 非公表 | 包装資材製造のアルブラは、ヨハネスブルク周辺で新しい製造拠点の建設を発表。2021年夏に稼働開始予定。 |
| 化学 | ミュンツァー | インド | 2019年2月 | 非公表 | オーストリア最大手のバイオディーゼル製造メーカーであるミュンツァーは、インドのムンバイ近郊にバイオ燃料の精製プラントを建設した。 |

(M&A)

| 買収企業 企業名 | 被買収企業 (事業) | | | 時期 | 投資額 | 概要 |
|---------------------|------------|---------------------------|--------------|--------------|---------------------|---|
| | 業種 | 企業名 | 国籍 | | | |
| OMV | 石油 | アブダビ国 営石油会社 (ADNOC) | アラブ首 長国連邦 | 2019年 7月 | 24億 3,000万 ドル | 2019年1月にアブダビ国営石油会社 (ADNOC) から同社製油所の株式15%を取得したことを発表。同年7月に戦略的パートナーシップ契約を締結。 |
| ビーラー インダス トリー | 機械 | SHW | ドイツ | 2019年 6月 | 3,150万 ユーロ | ドイツの自動車部品メーカーSHWの24.7%の株式を取得したと発表。持ち分を75.1%にまで拡大。 |
| S&T | ソフト ウェア | AISオート メーション | ドイツ | 2019年 11月 | 非公表 | ソフトウェア開発などを手掛けるAIS オートメーションの買収により、提供するデジタル化やインダストリー4.0、IoTソリューションの拡大を図る。 |
| ア ン ド リ ッ ツ | 機械 | ケムバルプ | スウェー デン | 2019年 8月 | 非公表 | スウェーデンの化学バルブ製造メーカーであるケムバルプを買収したと発表。 |

(出所) 各社発表および報道などから作成

口に縮小した。

対日輸出を品目別で見ると、最大品目である機械・輸送機器 (構成比45.4%) の伸びは前年比0.6%増にとどまったが、そのうち自動車 (21.0%) が6.7%増、電気・電子機器 (3.5%) が21.2%で堅調に伸びた一方、産業用機械 (5.3%) が5.6%減となった。シェアは小さいが原動機 (1.9%) も40.5%減と大きく減少した。原料別製品 (18.7%) が8.0%増と堅調に推移したほか、食品・動物 (4.8%) も23.7%増と増加が目立った。

日本からの輸入を品目別で見ると、全体の7割を占める機械・輸送機器 (構成比70.0%) は前年比2.1%増となった。そのうち自動車 (26.3%) が4.0%増、産業用機械 (11.7%) が10.5%増と好調であった一方、電気・電子機器 (12.3%) が8.4%減、一般機械 (4.7%) が11.2%減と低迷した。化学品 (11.9%) は医薬品 (0.8%) が49.3%減と半減したため、6.3%減となった。

オーストリア国立銀行によると、2019年の日本からの直接投資受け入れ額は16億4,000万ユーロと、前年の1億3,900万ユーロから大幅に増加した。対外直接投資も1,700万ユーロと前年から倍増した。

日本からの主な大型投資は、武田薬品工業による2019年1月のアイルランドのシャイアーの買収である。同買収によって、武田薬品工業はシャイアーのオーストリア国内生産施設・人員を確保し、従業員4,500人と日系企業の中でも有数の規模を誇る。

表6 オーストリアの対日主要品目別輸出入 (通関ベース)

(単位: 100万ユーロ、%)

| | 輸出 (FOB) | | | | 輸入 (CIF) | | | |
|------------|----------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|---------|
| | 2018年 | | 2019年 | | 2018年 | | 2019年 | |
| | 金額 | 金額 | 構成比 | 伸び率 | 金額 | 金額 | 構成比 | 伸び率 |
| 機械・輸送機器 | 728 | 732 | 45.4 | 0.6 | 1,541 | 1,573 | 70.0 | 2.1 |
| 自動車 | 317 | 339 | 21.0 | 6.7 | 569 | 592 | 26.3 | 4.0 |
| 一般機械 | 96 | 98 | 6.1 | 1.9 | 120 | 107 | 4.7 | △11.2 |
| 産業用機械 | 90 | 85 | 5.3 | △5.6 | 238 | 263 | 11.7 | 10.5 |
| 電気・電子機器 | 46 | 56 | 3.5 | 21.2 | 301 | 276 | 12.3 | △8.4 |
| 原動機 | 52 | 31 | 1.9 | △40.5 | 88 | 92 | 4.1 | 4.5 |
| 通信機器 | 15 | 17 | 1.0 | 13.2 | 66 | 73 | 3.2 | 9.6 |
| 原料別製品 | 279 | 302 | 18.7 | 8.0 | 142 | 143 | 6.3 | 0.2 |
| 金属製品 | 125 | 131 | 8.1 | 4.3 | 35 | 37 | 1.7 | 6.3 |
| 鉄製品 | 17 | 26 | 1.6 | 51.1 | 36 | 28 | 1.2 | △21.9 |
| 雑製品 | 140 | 185 | 11.5 | 31.9 | 243 | 233 | 10.4 | △4.2 |
| 計測機器 | 64 | 79 | 4.9 | 23.8 | 135 | 115 | 5.1 | △14.9 |
| カメラ、光学機器 | 5 | 5 | 0.3 | △11.1 | 50 | 44 | 2.0 | △12.0 |
| 雑工業製品 | 43 | 73 | 4.5 | 70.6 | 54 | 70 | 3.1 | 29.5 |
| 化学品 | 160 | 171 | 10.6 | 6.7 | 286 | 268 | 11.9 | △6.3 |
| 医薬品 | 75 | 96 | 6.0 | 28.1 | 35 | 18 | 0.8 | △49.3 |
| 有機化学製品 | 10 | 13 | 0.8 | 24.1 | 109 | 99 | 4.4 | △9.7 |
| 原料 | 111 | 111 | 6.9 | 0.0 | 7 | 8 | 0.4 | 17.7 |
| コルク・木材 | 95 | 93 | 5.8 | △1.5 | 0 | 0 | 0.0 | 1,685.8 |
| 食品・動物 | 62 | 77 | 4.8 | 23.7 | 3 | 5 | 0.2 | 42.5 |
| 飲料・たばこ | 11 | 12 | 0.8 | 9.8 | 2 | 2 | 0.1 | 21.5 |
| 合計 (その他含む) | 1,529 | 1,613 | 100.0 | 5.5 | 2,240 | 2,248 | 100.0 | 0.3 |

(出所) オーストリア統計局

主要経済指標

| | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|-------------------------------|---------|---------|---------|
| ①人口：890.3万人（2020年） | | | |
| ②面積：8万3,883km ² | | | |
| ③1人当たりGDP：5万277ユーロ （2019年） | | | |
| ④実質GDP成長率（%） | 2.5 | 2.4 | 1.6 |
| ⑤消費者物価上昇率（%） | 2.2 | 2.1 | 1.5 |
| ⑥失業率（%） | 5.5 | 4.9 | 4.5 |
| ⑦貿易収支（100万ユーロ） | △5,603 | △5,985 | △4,316 |
| ⑧経常収支（100万ユーロ） | 5,747 | 8,984 | 10,460 |
| ⑨外貨準備高（グロス） （100万ユーロ） | 9,894 | 11,653 | 9,906 |
| ⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ） | 289,879 | 285,267 | 280,426 |
| ⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均） | 0.8852 | 0.8468 | 0.8933 |

〔注〕④：2019年は暫定値
〔出所〕①②⑦⑩：オーストリア統計局、③：世界銀行、④⑤⑥⑧：オーストリア国立銀行、⑨⑪：IMF

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp